

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 116 号

Health and Productivity Management in Hospital Organizations and Work Engagement of Nurses

(病院組織における健康経営と看護師のワーク・エンゲイジメントに関する研究)

新井 由美 (あらい ゆみ)

博士 (スポーツ健康科学)

論文内容の要旨

日本では、看護師の定着・離職防止に向けた取り組みの強化が急務となっている。日本看護協会では、看護師が生涯を通じて安心して働き、アウトカムを向上させることができるよう、支援的な職場環境づくりを目標に掲げている。このような背景のもと、日本の病院組織における看護師の健康管理・生産性管理とワーク・エンゲージメント (WE) の関係について検討した。日本の 100 床以上の病院に勤務する常勤看護師 (保健師、助産師、看護師) を対象に、ウェブアンケートを実施した。

結果 WE の粗オッズ比 (OR) は、健康的な職場文化に関連するすべての指標項目において、高群で低群よりも有意に高かった。調整 OR については、性別、年齢、勤続年数、経験年数、職種、配偶者の有無、勤務シフト、週当たりの運動頻度、週当たりの勤務時間から傾向スコアを算出し、調整変数として用いた。その結果、“取り組みの計画段階からの担当者の参加”と“取り組みの計画への担当者の意見の反映”を除くすべての項目において、高群の調整 OR は低群の調整 OR よりも有意に高かった。本研究は、病院組織における健康・生産性マネジメントの取り組みが看護師の WE にポジティブな影響を与える可能性を示唆している。さらに、これらの取り組みが看護師の定着率向上や離職防止に寄与する可能性を示唆された。